

2021年5月17日  
丸紅ベンチャーズ株式会社

**丸紅ベンチャーズ、国際物流プラットフォームを手がける Willbox へ出資**  
**～国際物流の DX 促進事業を支援～**

丸紅ベンチャーズ株式会社(以下、「丸紅ベンチャーズ」)は、国際物流プラットフォーム「Giho」を運営する Willbox 株式会社(本社：神奈川県横浜市、代表取締役：神一誠、以下、「Willbox」)に、プレシリーズ A ラウンドのリード投資家として出資しました。

2019年に設立された Willbox は、多くのステークホルダーが関わる国際物流において、最適なサプライチェーンを再定義することで「早い・安い・明瞭な」物流サービスを実現できる国際物流のデジタルプラットフォーム「Giho」を運営しています。今回の調達を契機に事業を本格的に立ち上げ、国際物流に関わる日本国内の事業者が長年培ってきた知見を DX (デジタルトランスフォーメーション) によってアップデートし、物流の面から工業製品の国際競争力を高めることを通じて「Made in Japan」を再定義することを目指します。

Willbox が DX による効率化を目指す国際物流は、梱包、陸運、通関、船積みといった様々な工程があり多くの物流事業者が関わるため、リードタイムが長期化したり、料金構造が分かりづらかったりするといった課題を抱えています。Willbox は、「Giho」の運営を通じてこれらのステークホルダーを最適にマッチングし、荷主に対して「早い・安い・明瞭な」物流サービスを提供しています。

「Giho」の特徴は、独自に構築した物流事業者に関するデータベースとアルゴリズムを活用し、荷主が入力した貨物の寸法や内容物、出荷地、荷受地、スケジュールといった条件に応じて、最適な物流事業者を組み合わせた見積もりを最短 10 秒程度で作成する点にあります。見積もりには詳細な費用の内訳も分かりやすく表示されるため、荷主は複数の見積もりを比較し最適と判断した各物流事業者への発注を Giho 上で一括して行えます。Willbox は、今後も荷主が国際物流に関する業務を効率化できる機能を Giho に追加していくことで、国際物流のプラットフォームとして業界全体の発展に貢献するサービスに成長させることを目指します。

「Giho」の運営は 2020 年 7 月からベータ版として開始しており、これまでに 100 社を超える物流事業者が登録済みです。すでに輸送費用の削減や見積比較と発注における業務

2021年5月17日

丸紅ベンチャーズ株式会社

改善といった成果を上げています。Willbox は今回調達した資金で、更なるシステム改善や新機能開発のほか、サポート体制の強化やそのための人材採用などを行う予定です。

丸紅ベンチャーズは、丸紅株式会社のコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）として、2019年6月の設立以来、既存の枠組みを超えるイノベーションの促進と新事業創出を目的として、アーリーステージのスタートアップ企業を中心に国内外で投資活動を行っています（URL：<https://www.marubeni-ventures.com>）。今回の出資を機に、Willboxの事業拡大をサポートしていきます。

●Willboxについて

本社：神奈川県横浜市

設立日：2019年11月19日

URL：<https://willbox.jp/>

代表取締役：神 一誠

外部株主：ANOBACA、丸紅ベンチャーズ、SMBCベンチャーキャピタル、三菱UFJキャピタルほか